

新型肺炎 SARS

新型肺炎(重症急性呼吸器症候群=SARS)は世界中の人々を恐怖に落とし入れています。非常に感染力が強いこと、また一旦感染する重症化する率が高く、その死亡率は10%近いとの報告もあり、今日我々が経験する感染症の中で最大の脅威といえます。

近代医学の進歩で、幸い小児の感染性疾患もワクチンや抗生剤の開発でほとんど重症化することはなくなり、乳幼児の死亡原因として感染症は7位にまで低下はしています。とはいえ、決してなくなったわけではありません。

これからは腸管ウイルス感染症が蔓延する季節となります。重症化することはまれですが、しばしば無菌性(ウイルス性)髄膜炎を合併しますので注意が必要です。非常に感染力が強いウイルスですから、保育園などに通っている子どもたちが罹らないようにすることは不可能なことであり、重要なのは感染予防というよりも、重症化防止にあります。

親も子も規則的な生活で、決して過労にならないようにすることです。子どもを守るには、親自身が無理をせずに、免疫力を貯えておくのが一番です。